

事例から学んで
栗原市立西中学校 一年 津田 美紅
陸上自衛隊になりたいたいと思っただ、昨年の台
風の事は、今でも覚えていきます。
昨年の令和元年東日本台風では丸森町
が被災していました。その様子を私はテレビ
のニュースで見ました。丸森町は私が
住んでいる栗原市から遠いですが何かあ
たら大変なので、お母さんやお姉ちゃんたち
と避難準備をして、住こしてしました。午後
になると、ほとんど雨が強く、いきす
づくこゆか、たびす。ですが、丸森町の方
たちも、土砂災害。ていると思いは、寝ました。
朝になると、太陽が出ていました。家の庭
は、葉などで汚なか、たびす。丸森町の葉子
庭に、スで知りました。土砂災害が発
生した。川なども氾濫してました。その時
は、ボランティアの人や自衛隊の友を見ました。
被災した方を助けたいと思いました。
も、あなりたいと思いました。

土砂災害について調べてみると、大雨だけ
 でなく、地震や地すべり、土石流などもあ
 る。事が分かりました。毎年、台風や豪雨の影
 響で土砂災害が起きている。特に、最近
 では九州地方だけでなく関東地方や東北
 地方でも土砂災害が起きている。二千
 十九年は台風や豪雨が多かったです。し
 かも、観測史上最強クラスの台風だった。
 め、被害がすごかった。と思います。九州地方
 の方は、ひどい。土砂災害防止や対策とし
 ているのか気になりました。なので調べてみ
 ました。
 九州地方では、災害対策用機械などの訓練
 公共建築物等の復旧、画像情報等の収集と提
 供、災害情報の収集と伝達、災害対策支援な
 どの事を行っています。また、課題につい
 ては、このように取り組めば良いかを分析し
 ています。ごいと思います。また、自分達が
 できる対策として、危険箇所を確認する、避
 難場所の確認する、非常用持ち出し袋の用意
 をしておくなどができます。私共、日頃から

確認しなリ、準備したリしておきたいのです。
 千九百七十九年から二千八年までの三十年
 間には、平均するとおおよそ年間千件程度の土
 砂災害が起こっているようです。また、今年
 の七月豪雨では、土砂災害が九百十五件も発
 生しました。七月で九百十五件なので、年
 間では千件以上発生するのではないかと思
 いました。二年前の土砂災害の発生件数は十五
 百十四件でした。しかし、死者や行方不明者
 は例年に比べ、少なかったです。対策をする
 ことで、死者や行方不明者は少なくなつたの
 かなと考をました。身を守るためや被害を減
 らすためにも、対策は必要なんだという事が
 分かりました。
 土砂災害の中で、逃げ遅れる人が多いか
 ら崩れは死者が出る事があるそうです。この
 ような対策を行つているのか疑問に感じた
 調べてみました。崩れとは、地中にしみ
 込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震な
 りによつて斜面が突然崩れ落ちる土砂災害だ

普段からの対策や訓練などが大切という事
 かがかりました。いつ、どこで自然災害が起
 ころか分からないので、必要な知識を正確に
 覚えておき、知らない人にも教えようという
 になりたいです。前兆現象についてもし、か
 り分かっておきたいです。これから、台風な
 ど発生しやすくなる季節になるので、日頃の
 ニコエを。かり見て注意しておきたいです。
 す。老人にならばボランティア活動に参加
 してみたいと思えました。